

転換契約の運用-ガイドライン

本ガイドラインは、IOP Publishingとの転換契約のご利用中またはご検討中のお客様に向けて、契約の運用方法を詳しくご説明する内容になっています。

記載内容についてさらに詳細情報が必要な場合や何かご不明な点がある場合には、お客様の地域を担当するRegional Manager（リージョナルマネージャー）にご連絡いただくか、Eメールを ta@iopublishing.org までお送りいただけましたら、担当者に対応いたします。







主な詳細

著者の特定についての当社の配慮

適格性については下記の基準が自動的に適用され、オープンアクセス（open access:OA）の資金助成の対象として適格な論文の特定が行われますのでご安心ください。OA出版が可能となれば、当社より責任著者に連絡し、その旨をお伝えします。資金助成を受けるために著者側が別途行う作業はありません。

適格性についての当社の基準

以下は、転換契約（transformative agreement: TA）の締結下で論文を出版するか否かを決定する際の当社の基準です。

-  **責任著者**-投稿時点で指名されている人物を責任著者とする。
-  **所属機関**-これは投稿時点での責任著者の所属先とする。所属機関は、ライセンス内の教育機関であることが求められる。著者の所属機関が複数ある場合は、TAの適格性を見極める目的から、投稿の制度に沿って提示されている主たる所属先を所属機関とする。
-  **ジャーナル**-これは、そのライセンスに含まれているジャーナルによって異なるが、[条件を満たしたジャーナルのリスト](#)に名前が挙げられているジャーナルである必要がある。なお、そのリストは[こちら](#)の専用サポートページで確認できる。
-  **論文のタイプ**-有料タイプの論文はすべて対象一論文、レター、レビュー（レビューを含まない *Reports on Progress in Physics*™ を除く）
-  **受理日**-対象となる論文は、ライセンス期間内に受理された論文とする。
-  **論文の上限**-当社の契約内容によっては、論文の上限が設定されている。その場合、論文の受理日の順に割り当てられる。貴機関で指名されているライブラリー担当者に対し、当社が論文ごとに承認を求める。論文の妥当性確認については、以降のセクションを参照。

転換契約の運用方法の詳細

- TAの適格性は責任著者と関連づけられるものであり、当社では、投稿から出版に至るまで、すべて同一人物によるものであることを確認するためのプロセスを用意しています。
- TAの適格性は、投稿時点という固定された事象と関連づけられています。著者の所属機関が変わることは珍しいことではありませんが、この固定された時点にTAの適格性を合わせることで、著者の経験に連続性をもたせることができます。
- 当社では、投稿論文とともにアップロードされる関連書類よりも、むしろ投稿フォームに記載されている機関名を使用してTAの適格性の有無を判断します。
- また、論文の適格性を見極めに機関名を使用することにより、著者は、所属機関のEメールアドレスではなく世界の多くの地域で普及している一般的なEメールアドレスを使用することができます。
- 当社では、TAの開始前に、過去の投稿データを利用し、著者に使用されてきた所属機関名のさまざまな表記法を記録しています。そのようにすることで、当社では、条件を満たした論文を可能な限り多数とらえられるようにしています。
- また、ファジー理論を採用してスペルミスのある機関名をピックアップし、所属機関を識別するサービスで機関が取り上げられる確率を高めています。

著者の役割ならびに責任に関する情報は [こちら](#) を参照してください。

また、著者の方向けにご用意した、TAの締結下での投稿に関する便利なガイドも [こちら](#) でご覧いただけます。なお、[動画](#) 版もご利用いただけます。

上限付きの契約と無制限契約

無制限契約の場合、信頼性が極めて高い論文を、90%を超える精度で見極める当社の確かな識別機能を利用することで、ライブラリー担当者の時間と管理に伴う労力が節約されます。当社は責任をもって、論文を適切に見極め、OA出版が可能である旨を著者に通知いたします。何らかの誤りにお気づきの際は、openaccesscharging@iopublishing.orgまでご連絡ください。

上限付きの契約の場合は、貴機関で指名されている担当者に論文の妥当性確認の要請を優先事項として処理されるようにタイムリーにお送りします。コンソーシアムでは、各大学の担当者を指名するか、または加盟機関に代わって論文の妥当性確認の要請を一括で受ける担当者を指名することができます。

遡及

当社では、OA出版から漏れた論文や出版から11ヵ月未満の論文で条件を満たしている論文に対し、機会はまれながら、遡及的なOAとして対応しています。当社のTA Operationsチームでは、漏れた論文がないか積極的に検索していますが、そのような論文にお気づきの場合は、そのDOIまたは論文IDをopenaccesscharging@iopublishing.org宛にEメールでお知らせいただければ対応いたします。

著者は、論文が購読タイプとして出版されていた場合、著作権に関する新たなCC BYライセンスに同意し署名する必要があります。この[ショート動画](#)では、TA下での著作権に関する詳細情報についてご案内しています。

TAの締結下で遡及的に認定されるべきOA論文があった場合には、著者/資金提供者に対し、論文掲載料の払い戻しが行われます。

遡及的なオープンアクセスに期限を設けている理由

当社では、OAについてお約束していることの一つとして、二重払いをお客様にさせないことを挙げています。また、各ジャーナルのOAのレベルに準じた購読料の設定を行っていることから、そのレベルを評価するための期限が当社には必要となります。

1年後には、グリーンOAとして論文を公開する著者への禁止措置が解除され、特定のリポジトリで受理原稿を共有することが可能になります。詳細な情報は、[IOP Publishingのグリーン オープンアクセスのポリシーを参照してください。](#)

著者のオプトアウト

著者がOAをオプトアウトした場合には、当社がライブラリー担当者をリアルタイムで積極的にフォローいたします。これにより、著者が希望した場合にはフォローアップする機会が、ひいてはオプトアウトの理由を理解する機会がライブラリー側に生まれます。その結果、著者の考えが変わり、OA出版を選ぶ場合も少なくありません。オプトアウトは非常にまれで、昨年に関して言えば、TAの条件を満たした著者のオプトアウトの割合はわずか2~3%*であり、その多くはライブラリー担当者とのやり取りを経てオプトアウトが取り消されました。

*2024年のデータに基づく。

こちらの[通説 vs ファクト](#)では、著者のオプトアウトの理由として多くみられるものをいくつか取り上げ、当社の対処を示しています。

著作権

TAによって発表される論文は、[CC BY ライセンス](#)の下で公開されます。このライセンスは、オリジナルの著作物が適切にクレジットされている限り、他者が、著者の著作物を配布、リミックス、微調整、およびそれを基に創造することを可能にします。こちらの[ショート動画](#)では、著者の方向けにさらに詳しい情報をご案内しています。内容は以下のとおりです。

- CC BYライセンスの説明とその重要性
- 著者にとってのCC BY ライセンスの意義
- 著作権フォームへの記入方法

報告

当社では、四半期ごとにExcelで作成したレポートを提示しています。レポートは契約レベルに応じて作成され、TAに割り当てられている論文のすべての主要なメタデータが記載されています。

OA Switchboard（スイッチボード）の'reporting made easy'（レポート簡易化）サービスにご加入の場合は、IOP PublishingのOA論文についてレポートしていただけます。

OA Switchboardは、中央情報ハブを介してOAの研究成果に関する情報を学術機関や研究資金助成機関がモニタリングできるようにする独立した仲介機関です。参加についての詳細は[こちら](#)をご覧ください。

契約内容の揭示

当社ではJournal Finder（ジャーナルファインダー）ツールに利用者の契約内容を揭示しています。これは、著者が自分の論文を発表したいジャーナルが資金提供者の要件に準拠しているか否か、またはその論文がTAの対象となっているか否かを簡単に確認できる無料ツールです。その目的は、OA出版のワークフローの合理化と、研究者の負担軽減にあります。

また、[国別](#)の専用ページを設け、TAハブにも揭示しています。そのため、著者の方には契約内容を簡単に参照して確認していただけます。

揭示場所は、出版サポートページ、投稿フォーム内、著者への助成金に関する通知、および当ジャーナルのホームページ上の出版情報などです。当社では、著者の方々が論文出版を進める中で迎えるすべての重要段階で、資金助成に関する選択肢の情報を十分に得られるように徹底することを目指しています。

なお、当社は、Efficiency and Standards for Article Charges Initiative（ESAC）が提供しているESACワークフローガイドラインに準拠しています。お客様には、ESACデータベースに貴機関の契約内容の詳細を追加することをお勧めしております。これはJournal Checker（ジャーナルチェッカー）ツールに順番に反映されますので、研究者の皆様が資金助成に関する選択肢を見つけやすくするためのもう一つの方法にもなっています。esac-initiative.org

その他の情報

その他の詳細情報や、契約の利用を前向きにご検討いただくための補足資料などにつきましては、こちらをご覧ください。

[TA Hub](#)

[著者とライブラリー担当者のよくある質問](#)

[ライブラリーリソースのページ](#)

[YouTubeでのTAプレイリスト](#)